

歯科材料 9 歯科用研削材料
一般医療機器 歯科用ゴム製研磨材 70903000
(歯科用マンドレル 35170000)

グロスマスター Z R

【形状・構造及び原理等】

【構造】

- 作業部：ダイヤモンド（研削砥粒）を合成ゴムで結合した砥石
- 軸部：ステンレス鋼
軸部形式 1：C A 用
軸部形式 2：H P 用
形態番号：28、29S、11、13SS、ホイール(8)、D25
※ホイール(8)、D25 は、構成部品である松風マンドレルの HP と組合わせる。

【種類】

種類	作業部色調	用途
ミディアム	黒色	ジルコニア、ニケイ酸リチウム等の中仕上げ
ファイン	淡黄色	ジルコニア、ニケイ酸リチウム等の最終仕上げ

【使用目的又は効果】

ジルコニア、ニケイ酸リチウム等の研磨に用いる。

*【使用方法等】

【使用方法】

- 本材を口腔内で使用する際には、洗浄・消毒・滅菌を行った後に使用します。
 - ホイール(8)、D25 は松風マンドレルの HP に装着します。
 - 本材を歯科用ハンドピースに装着して、通法により使用します。
 - 再使用する場合は、口腔内で使用後速やかに、洗浄・消毒・滅菌を行います。
- 滅菌方法：オートクレーブ（134℃ 3 分）による滅菌を行います。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- ※1）ホイール(8)及びD25は松風マンドレルのHPと確実に装着すること（D25はネジの頭部を作業部天面のくぼみへ入れるように装着する）。
- 2）ハンドピースメーカーの指示に従って、シャンクを確実に奥まで挿入し半チャックでないことを確認すること。
- ※3）使用前に口腔外で本材を下に向けて空回しして、外れないこと及び振れがないことを確認すること。振れがある場合は、ダイヤモンドドレッサー等でドレッシングを行ってから使用すること。
- 4）頭部の細いもの、長いもの、大きい形状のものは、折れたり曲がるがあるので、無理な角度や過度の加圧での使用は避けること。
- 5）研磨時の摩擦熱により歯面や歯髄等を痛める可能性があるため、過度の加圧や高い回転速度による連続的な使用は避けること。発熱が大きい場合には冷却（水冷）すること。

【使用上の注意】

【重要な基本的注意】

- 1）指定の最高許容回転速度を超えて使用しないこと。

形態	最高許容回転速度
ホイール(8)、D25	15,000min ⁻¹
上記以外	20,000min ⁻¹

- 2）変形、損傷（錆、表面傷、曲がり、汚損）等のあるものは使用しないこと。
- 3）本材を使用して研磨する際には、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスク等を使用すること。
- 4）目の損傷を防ぐために、保護眼鏡等を使用すること。
- 5）【保守・点検に係る事項】に記載する方法及び条件で、洗浄等の処理を行った上で滅菌すること。

【その他の注意】

- 1）作業部にある「黒いすじ」、「色調のむら」は品質上問題ありません。

【保管方法及び有効期間等】

【保管方法】

- ・直射日光、水分、腐食性薬剤及びその蒸気の暴露を避けて、外圧（物理的負荷）及び汚染を受けないようにし、室温（1～30℃）環境下で保管すること。
- ・歯科医療従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【有効期間】

- ・本材の使用期限は包装に記載のとおり。
[当社データによる]

※(例) 📅 YYYY-MM-DD は→使用期限 YYYY 年 MM 月 DD 日を示す)

【保守・点検に係る事項】

【使用者による保守点検事項】

- 1）口腔内ではじめて使用する前及び使用した後は、下記の手順に従って洗浄・消毒・滅菌の順に処理を行うこと。
- 2）口腔内で使用した場合、十分な洗浄効果を得るために、使用から1時間以内に洗浄を開始すること。
- 3）塩素系消毒剤や過酢酸は、軸部が腐食する恐れがあるため使用しないこと。
- 4）消毒用エタノールなどの有機溶剤は、作業部が変質する恐れがあるため使用しないこと。
- 5）サイデザイム（酵素洗浄剤）、ディスオーバ（消毒液）の取扱いについては、各製品の説明書又は添付文書に従うこと。
- 6）ウォッシャーディスインフェクター、オートクレーブ滅菌器の取扱いについては、各添付文書に従うこと。

< 用手洗浄・用手消毒 >

- 1）用手洗浄
 - ① 予備洗浄
 - ・サイデザイムに3分間浸漬します。
 - ・ナイロンブラシで汚染物の除去を行います。
 - ・水洗します。
 - ② 本洗浄
 - ・サイデザイムを新しいものに入れ替え、再度浸漬し、超音波洗浄を15分間行います。
 - ・水洗します。
 - ・ワイブ等で完全に水分をふき取り、乾燥させます。
- 2）用手消毒
 - ・ディスオーバに5分間浸漬します。
 - ・水洗します。
 - ・ワイブ等で完全に水分をふき取り、乾燥させます。

< 機械洗浄・機械消毒 >

- 1）機械洗浄・機械消毒
 - ① 予備洗浄
 - ・サイデザイムに3分間浸漬します。
 - ・ナイロンブラシで汚染物の除去を行います。
 - ・水洗します。
 - ② ウォッシャーディスインフェクターによる洗浄・消毒
 - ・ウォッシャーディスインフェクターにて洗浄・消毒を行います。なお、使用するウォッシャーディスインフェクターはISO 15883に適合したものを使用すること。

< 滅菌 >

- ・滅菌バッグに本材を封入し、134℃で3分、オートクレーブ滅菌を行います。なお、使用するオートクレーブ滅菌器は、クラスBを推奨します。

＜滅菌後の保管＞

- ・滅菌後は使用するまで滅菌バッグは開封しないこと。
- ・清潔で乾燥した環境下で保管すること。

【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者	株式会社 松風
住所	〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町 11
電話番号	(お客様サポート窓口)075-778-5482